


輸液協発第10号
2011年7月22日

運営委員・実務委員 殿


輸液製剤協議会
運営委員長 坂本 勝博
医療過誤防止検討部会長 池田 賢一
広報部会長 広野 敏博

ゴム栓部分の消毒の必要性に関する輸液製剤協議会統一見解の周知について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、輸液製剤協議会（以下、輸液協）の運営につきまして、ご高配を賜り、誠に有難うございます。

さて、輸液協では、各社のお問い合わせ対応業務に役立てて頂く目的で、各社に寄せられるよくある質問について業界統一見解を作成し、ウェブサイトに掲載しています。統一見解の作成にあたっては、輸液の販売実績を持つ全12社より回答案を持ち寄り、検討いたしました。そのうち、下記Q&Aについては、ウェブサイトに寄せられる質問も多く、対応に苦慮しております。

Q:輸液のゴム栓部分は消毒した方がいいですか？滅菌はされていますか？

A:シールやプルトップなどを付けた後に滅菌を行っていますが、無菌性が保証されているわけではありません。シールやプルトップなどを外した後は、使用前にゴム栓部分を適切に（酒精綿などで）消毒することを推奨いたします。

医療従事者の皆様からご質問を頂く理由の一つに、本統一見解と、各社お問い合わせ対応、MRによる情報提供の内容が異なっている可能性があることが考えられます。無菌保証は可能との誤解を生じるご説明は避け、各社お問い合わせ対応、MRによる情報提供におきましても、本統一見解を周知・徹底して対応にあたって頂きたく、お願い申し上げます。ご協力の程、宜しくお願い致します。

敬具